



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月31日

上場会社名 株式会社 カナデン

上場取引所 東

コード番号 8081 URL <https://www.kanaden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本橋 伸幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 黒田 暢彦

TEL 03-6747-8805

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	22,441	9.2	337	35.4	577	25.7	358	30.3
2024年3月期第1四半期	24,703	27.6	522	276.5	776	109.7	513	183.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 467百万円 (42.4%) 2024年3月期第1四半期 812百万円 (208.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	15.27	
2024年3月期第1四半期	21.92	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	72,783	47,999	65.7	2,039.50
2024年3月期	85,596	48,204	56.1	2,048.32

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 47,834百万円 2024年3月期 48,042百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		24.00		29.00	53.00
2025年3月期(予想)		31.00		31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,000	0.7	1,700	7.9	1,750	20.5	1,100	25.5	46.90
通期	122,000	4.9	5,050	11.1	5,100	2.1	3,600	3.6	153.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	23,600,000 株	2024年3月期	23,600,000 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	145,705 株	2024年3月期	145,632 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	23,454,332 株	2024年3月期1Q	23,431,937 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報に基づいております。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、雇用・所得環境の改善や原材料高を製品価格に反映する動きが広がるなど堅調な企業収益を背景に、人手不足に対応するための自動化・DX化をはじめとした設備投資需要は堅調に推移しています。

一方で、円安の進行による資源・エネルギー価格の高騰、中国経済の動向、欧米の金融政策の影響などによる海外経済の減速が国内景気を下押しするリスクが懸念されます。

このような状況下、当社グループは、5ヵ年中期経営計画『Electronics Solutions・Company 2025 (ES・C2025)』の4年目として、技術力・企画力を高め、SDGsへの取り組みを通じて社会課題の解決に貢献し、持続的な成長を実現する「エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー」となることを目指し取り組んでおります。

これらの取り組みを進める中、需要を掘り起こし事業機会の拡大に注力しておりますが、情通・デバイス事業の電子医療装置が前期の大口案件の剥落により減収となりました。また、製造業における生産調整の影響もあり、FA分野および半導体・デバイス分野が苦戦しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高につきましては、22,441百万円（前期比2,262百万円減）となり、経常利益につきましては、577百万円（前期比199百万円減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、358百万円（前期比155百万円減）となりました。

### セグメント別の営業の概況

(単位：百万円)

		前第1四半期連結 累計期間	当第1四半期連結 累計期間	増減額
FAシステム事業	売上高	9,849	9,907	57
	経常利益	441	409	△31
ビル設備事業	売上高	2,394	1,809	△585
	経常利益	△153	△137	15
インフラ事業	売上高	3,658	4,258	600
	経常利益	△135	△130	5
情通・デバイス事業	売上高	8,801	6,466	△2,334
	経常利益	417	221	△196

#### ①FAシステム事業

FA分野は、中国経済の下振れリスクや在庫調整の影響もあり、コントローラシステムや駆動制御機器を中心に苦戦し低調に推移しました。

産業メカトロニクス分野は、放電・レーザ加工機ともに案件が少なく減少しました。

産業システム分野は、工場設備向けの計装システムが堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては57百万円の増収とはなりましたが、経常利益は31百万円の減益となりました。

#### ②ビル設備事業

設備機器分野は、情報・通信事業者向け電源設備が需要は継続しているものの、工期延伸案件の影響もあり減少しました。

空調・冷熱機器分野は、オフィスビルの更新需要により空調機器・住設機器が堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては585百万円の減収とはなりましたが、経常利益は15百万円の増益となりました。

#### ③インフラ事業

交通分野は、鉄道事業者の設備投資が回復基調であり、無線通信機器が好調に推移し、車両用機器も順調に推移しました。

社会システム分野は、官公庁案件が前年並みで推移しました。

その結果、当該事業としては600百万円の増収となり、経常利益は5百万円の増益となりました。

④情通・デバイス事業

情報通信分野は、画像・映像機器は前年並みに推移しましたが、電子医療装置が前年の大口案件の剥落により大幅に減少しました。

半導体・デバイス分野は、産業機器関連顧客向けパワーデバイスの受注は堅調に推移しましたが、電子デバイス品は家庭用電気機器向けが低調に推移しました。

その結果、当該事業としては2,334百万円の減収となり、経常利益は196百万円の減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、72,783百万円（前期末比12,813百万円減）となりました。

流動資産は、55,533百万円（前期末比12,870百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、電子記録債権が1,336百万円増加した一方で、売掛金が10,876百万円減少、商品及び製品が1,616百万円減少、現金及び預金が1,154百万円減少したことが主要な要因であります。

固定資産は、17,249百万円（前期末比57百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、投資有価証券が68百万円減少、のれんが41百万円減少した一方で、有形固定資産が81百万円増加、ソフトウェア仮勘定が57百万円増加、繰延税金資産が21百万円増加したことが主要な要因であります。

流動負債は、23,927百万円（前期末比12,760百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、前受金が939百万円増加した一方で、買掛金が11,027百万円減少、賞与引当金が1,093百万円減少、未払法人税等が740百万円減少、1年以内返済予定の長期借入金が702百万円減少したことが主要な要因であります。

固定負債は、856百万円（前期末比151百万円増）となりました。

純資産は、47,999百万円（前期末比204百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、為替換算調整勘定が182百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を358百万円計上、配当金の支払が680百万円あったことにより、利益剰余金が322百万円減少、その他有価証券評価差額金が52百万円減少したことが主要な要因であります。

その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は65.7%、1株当たり純資産額は2,039円50銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績については、現時点では2024年5月14日に公表しました業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,047	15,893
受取手形、売掛金及び契約資産	30,532	19,548
電子記録債権	7,441	8,778
商品及び製品	11,294	9,677
原材料及び貯蔵品	1	0
その他	2,092	1,638
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	68,404	55,533
固定資産		
有形固定資産	8,584	8,666
無形固定資産		
のれん	1,631	1,589
その他	1,452	1,497
無形固定資産合計	3,083	3,086
投資その他の資産		
投資有価証券	4,802	4,733
貸倒引当金	△62	△62
その他	784	826
投資その他の資産合計	5,524	5,496
固定資産合計	17,192	17,249
資産合計	85,596	72,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,498	13,498
電子記録債務	5,583	5,650
未払法人税等	810	70
引当金	1,471	256
その他	4,324	4,451
流動負債合計	36,687	23,927
固定負債		
引当金	6	6
退職給付に係る負債	318	328
その他	380	522
固定負債合計	705	856
負債合計	37,392	24,783
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,576	5,576
資本剰余金	5,361	5,368
利益剰余金	33,710	33,388
自己株式	△168	△168
株主資本合計	44,479	44,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,769	1,717
土地再評価差額金	378	378
為替換算調整勘定	568	751
退職給付に係る調整累計額	845	822
その他の包括利益累計額合計	3,562	3,669
非支配株主持分	162	164
純資産合計	48,204	47,999
負債純資産合計	85,596	72,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	24,703	22,441
売上原価	21,195	19,008
売上総利益	3,508	3,433
販売費及び一般管理費	2,986	3,095
営業利益	522	337
営業外収益		
受取利息	10	17
受取配当金	35	42
仕入割引	4	6
為替差益	168	170
その他	41	10
営業外収益合計	260	246
営業外費用		
支払利息	4	5
その他	2	1
営業外費用合計	6	6
経常利益	776	577
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	776	577
法人税、住民税及び事業税	22	43
法人税等調整額	240	173
法人税等合計	262	216
四半期純利益	513	360
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	513	358



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	513	360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	303	△52
為替換算調整勘定	8	182
退職給付に係る調整額	△13	△22
その他の包括利益合計	298	107
四半期包括利益	812	467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	812	465
非支配株主に係る四半期包括利益	-	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	FAシステム 事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,849	2,394	3,658	8,801	24,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	14	5	16	76
計	9,889	2,409	3,663	8,817	24,780
セグメント利益又は 損失(△)	441	△153	△135	417	569

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	569
全社費用(注)	207
四半期連結損益計算書の経常利益	776

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	FAシステム 事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,907	1,809	4,258	6,466	22,441
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	42	1	9	76
計	9,929	1,852	4,260	6,476	22,518
セグメント利益又は 損失(△)	409	△137	△130	221	362

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	362
全社費用（注）	214
四半期連結損益計算書の経常利益	577

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	80百万円	86百万円
のれん償却額	-百万円	41百万円